



ブレイクスルー

ノーベル賞科学者カタリン・カリコ自伝

カタリン・カリコ/著 笹山 裕子/訳

(河出書房新社, 2024 年7月刊)



新型コロナウイルス感染症のワクチン開発に貢献した功績によって、2023 年ノーベル生理学・医学賞を受賞したハンガリー出身の生化学者カタリン・カリコ博士の自伝。長年にわたる研究の成果がようやく認められノーベル賞受賞に至るまでの、不遇ともいわれる研究者生活を振り返りながら、屈することなく可能性を信じて自分の研究を続けてきた女性科学者が、その半生を綴る。

それ、フェミニズムに聞いてみない？

日々のもやもやと一緒に考えるフェミニスト・ガイド
タビ・ジャクソン・ジー、フレイヤ・ローズ/著
恵 愛由/訳 (明石書店, 2024 年6月刊)

現代の女性が直面する日常的な疑問や社会的な課題に対する返答・解決策を、フェミニズムの思想の中から見出そうと試みるユニークな本。政治、恋愛、結婚、仕事、メディア、身体など、幅広いテーマについて、シモーヌ・ド・ボーヴォワールから、ベティ・フリーダン、ケイト・ミレット、グロリア・スタイネム、ベル・フックスまで、多くのフェミニストたちの考えを取り上げ、比較・解説する。



翻訳する女たち

中村妙子・深町眞理子・小尾芙佐・松岡享子
大橋 由香子/著

(エトセトラブックス, 2024 年11月刊)



児童書からミステリまで、文学において数々の名訳を残している4人の著名な女性翻訳家—中村妙子、深町眞理子、小尾芙佐、松岡享子への丁寧なインタビューをもとに、彼女たちの人生の軌跡をたどる。光文社古典新訳文庫ウェブサイト「不実な美女」たち」掲載を加筆・修正して書籍化。単行本への書き下ろしとして、著者が出会った3人の翻訳者の思い出を追加収録。

女たちがつくってきたお酒の歴史

マロリー・オメーラ/著 柳野 みさと/訳
(草思社, 2024 年11月刊)

女性は、あらゆる時代の「飲酒文化」にとって重要な存在だった。中世の修道女がホップを使ったビールを生み出し、女性錬金術師の発明は後に蒸留酒の発見につながった…。有史以前から現代に至るまで、日本も含めた世界各地の「女とお酒」にまつわる歴史を、古代のクレオパトラなど各時代の顔となるひとりの女性の活躍を通して、豊富なエピソードと随所に皮肉を込めたユーモアのある語り口で紐解いていく。



SOSを見逃さず、支援につなげる！

子どもを守るセーフティネット

櫻井 和典, 廣瀬 貴樹/監修 (ナツメ社, 2024 年7月刊)

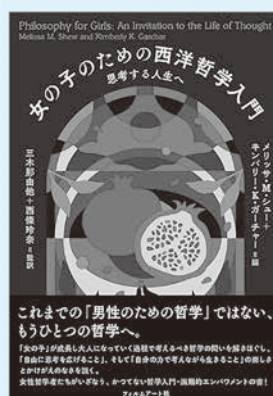


児童虐待、貧困、ヤングケアラー、心の病気・不調、いじめ、不登校、ひきこもり、海外ルーツの子など…。困難や課題を抱えた子どもたちが示す「SOSのサイン」を察知して、対処が必要な問題を把握し、周囲の大人が、早期に専門的な支援につなげるための知識・方法を掲載。同様に、外部から垣間見える家庭の状況から、子どもだけでなく、困難を抱えた家族全体を支援につなげるということについても解説する。

女の子のための西洋哲学入門

思考する人生へ

メリッサ・M・シュウ, キンバリー・K・ガーチャー/編
三木 那由他, 西條 玲奈/監訳 (フィルムアート社, 2024 年11月刊)



西洋哲学に含まれる様々な各分野を専門とする、20人の女性哲学者たちが、それぞれの専門領域から重要な哲学的テーマについて取り上げ、将来の女性哲学者たる若者たちへ向けて書いたエッセイを編集した本で、読者を哲学的な思考へといざなう。日本語版でも、原書を引き継ぎ、翻訳に14人もの女性研究者が関わり、哲学分野の女性の存在を実感できる本になっている。

なぜ人は自分を責めてしまうのか

信田 さよ子/著

(筑摩書房「ちくま新書」, 2025 年 3 月刊)

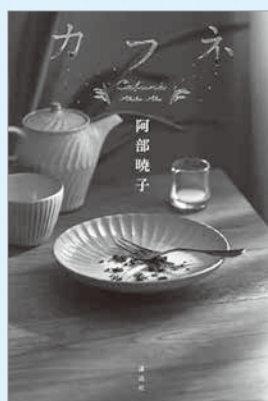


著名なカウンセラーで、多数の著作でも知られる著者が、「すべて自分が悪い」というように自分で自分を責める「自責感」をテーマとして、母と娘、共依存、育児などにまつわる問題を考える。

原宿カウンセリングセンターのオンラインセミナー「信田さよ子公開講座」の内容を文字に起こし、加筆・修正して一冊の本にまとめたもの。当事者に向けた講座の語り口を活かして、わかりやすい文体で書かれている。

カフネ

阿部 暁子/著 (講談社, 2024 年 5 月刊)



法務局に勤める薫子(かおるこ)は、急死した弟・春彦の遺言書から弟の元恋人・せつなと会う。やがて薫子は、料理のプロせつなと二人でペアを組み、春彦も手伝っていたという、家事代行サービス会社「カフネ」のボランティア活動を手伝うことに…。姉の知らない最愛の弟の真実とは。「食えること」をテーマに、弟が引き合わせた二人の絆と関係性の変化を描く。『小説現代』2024 年 4 月号掲載を加筆・改稿して単行本化。2025 年本屋大賞受賞作。

その他の新着図書

書名	著者	出版者	出版年月
女性の暮らしと生活意識データ集 2025	三冬社 編集制作部/編集・制作	三冬社	2024/10
今すぐできる心の守りかた フラッシュバック・ケア	服部 信子	KADOKAWA	2024/8
「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？ 認知科学が教えるコミュニケーションの本質と解決策	今井 むつみ	日経BP	2024/5
アガサ・クリスティー とらえどころのないミステリの女王	ルーシー・ワースリー/ 著 大友 香奈子/訳	原書房	2023/12
データから読む都道府県別ジェンダー・ギャップ あなたのまちの男女平等度は？	共同通信社会部ジェンダー 取材班/編	岩波書店 (岩波ブックレット)	2024/7
婦人相談員物語 その証言から女たちの歴史を紡ぐ	村本 邦子, 松本 周子	国書刊行会	2024/10
家裁調査官、こころの森を歩く 離婚、親権、面会交流、そして少年非行	高島 聡子	日本評論社	2024/11
女の子に生まれたこと、後悔してほしくないから	犬山 紙子	ディスカヴァー・ トゥエンティワン	2024/10
親への小さな恩返し 100 リスト	田中 克典	主婦と生活社	2024/12
よむよむかたる	朝倉 かすみ	文藝春秋	2024/9
鹿鳴館の花は散らず	植松 三十里	PHP 研究所	2024/8

情報コーナーでは、男女共同参画をはじめ、子育て・介護・仕事・生き方・文学など、さまざまな分野の図書、DVD、行政資料を取り揃えています。
また、日経 WOMAN・きょうの健康・ハルメクなど、雑誌の閲覧もできます。
情報コーナーで所蔵している本のリストは、ホームページに掲載しています。

◆利用時間 平 日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00

◆休 館 日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始、蔵書点検期間

こちら→

